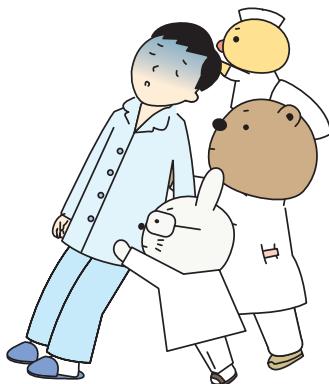


01

起立性低血圧とは

起立性低血圧とは、離床した際（離床後3分以内）に収縮期血圧が20mmHg以上の低下、拡張期血圧が10mmHg以上低下することを意味します。血圧が下がると脳に血流が行かなくなり、めまいや失神を起こすため、予防対策が必要となります。

収縮期血圧 $\geq 20\text{mmHg}$ ↓
拡張期血圧 $\geq 10\text{mmHg}$ ↓



02

起立性低血圧によって起こるデメリット

起立性低血圧は発生してしまうと、患者さんのADL・QOLが大きく低下します。実は、起立性低血圧が離床時の有害事象でもっとも多く¹⁾、しっかりと対策する必要があります。

入院中

ADLの低下
リハビリテーションに制限が出る
患者さんのモチベーション低下



退院後

日常生活の制限
活動量の低下



患者さんが安全に離床するためにも
予防や対処方法を知ることは必要だね！